

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果

4月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。(個人の結果については配付済みです。) 学校といたしましては、今後、本調査の教科並びに児童質問紙における調査結果から見て取れる成果や課題について分析し、学習指導等の改善に向け取り組んでまいります。ご家庭におかれましては、家庭学習の一層の充実や生活リズムの改善に向けご指導いただきますようお願いいたします。

国語

全国の平均正答率と比較して高い結果でした

【平均正答率(%)】

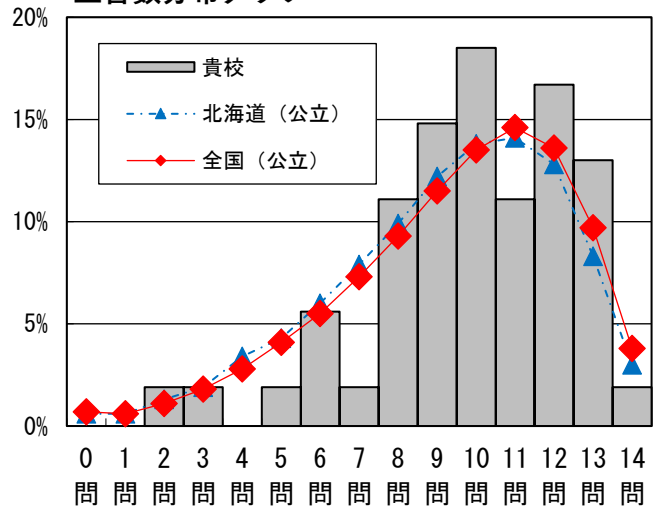
| 本校 | 全国 | 北海道 |
|------|------|------|
| 70.7 | 67.2 | 65.8 |

▶全道、全国平均を上回っている (全国比+3.5%)

【内容別の正答率(%)】

| 区分 | 本校 | 全国 |
|-----------|--------------|------|
| 言葉の特徴や使い方 | 73.3 全国比+2.1 | 71.2 |
| 情報の使い方 | 64.8 全国比+1.4 | 63.4 |
| 話すこと・聞くこと | 80.9 全国比+8.3 | 72.6 |
| 書くこと | 29.6 全国比+2.9 | 26.7 |
| 読むこと | 73.5 全国比+2.3 | 71.2 |

正答数分布グラフ



○正答率の高い問題

- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う

●正答率の低い問題

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する (記述)
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる (記述)
- 日常よく使われる敬語を理解しているかどうか

正答率の高かった問題

3 谷さんの敬語では、学校ボランティアの人たちを全校にしようかというために、自分の相手を決めてインクヒーローをすることにしました。次は、「谷さんの考え」と「インタビュ어의様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

3 谷さんの考え

学校ボランティアの中で、登下校でお世話になっている見守りボランティアの方は、毎朝早くから大変そう、どうして続けているのだろうか。私の通学路に立ってくださっている香田さんと山本さんにインタビューをして、お二人の思いを聞いてみよう。

「インタビュ어의様子」

谷さん こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願いいたします。大変ではあるんですか。

香田さん 確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っています。

山本さん 私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元氣をもらっています。

谷さん そうなんです。元氣をもらっているということについて、もう少し詳しく教えてください。

山本さん 子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとう」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元氣が出てきます。町で出かけた保護者の方が「いつもありがとうございます」と言ってくれたことも、ありがたいと感じています。

谷さん ありがとうございます。ボランティアをやっている中で、よかったことなどはありますか。

山本さん はい、そのとおりです。ボランティアをやっていると本物に変わったように感じます。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じるので、大変さよりもやりがいの方が大きいんです。

谷さん なるほど。そうですね。

香田さん 私は子供たちが安全に登下校している様子を見守ることができ、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿を見たときは、さらにうれし気持ちになります。ボランティアをしていてよかったなと思います。

谷さん いずれも素晴らしいですね。どのような理由で、このように思っていますか。

香田さん 一人ですべての友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿をみます。そんな姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。そんなふうに出てきていただけで、私もうれいんです。はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございます。

1 (1) インクヒーローの様子で、谷さんが、部々と部イのように質問した理由について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 谷さんが、部アのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。

2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。

3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。

4 自分の行動が可能なかどうかを相手に確かめるため。

谷さんが、部イのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。

2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。

3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。

4 自分の行動が可能なかどうかを相手に確かめるため。

3 (1) 正答 3
【正答率81.5%】

3 (2) 正答 2
【正答率87.0%】

正答率の低かった問題

1 川村さんは、学校の田んぼで選んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの字から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて問題点とその解決方法を書こう。



- 【カード①】
6月24日
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいさょうするのではないかと心配だ。
- 【カード②】
6月30日
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。
・どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
・調査きかん 7月1日～15日
- 【カード③】
7月19日
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが足りていないと考えられる。
・雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。
- 【カード④】
7月20日
【農家の石山さんのお話】
・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。
- 【カード⑤】
7月21日
【学校でできる解決方法】
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと比べてみました。つきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

- (条件)
- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード①」のそれぞれから分かることを書くこと。
 - 問題点の解決方法については、「カード②」をもとにして書くこと。
 - 六十文字以上、百文字以内にとめて書くこと。

1 二 正答例「グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまいかもしれないという問題がありました。そこで、雑草とりの回数と人数を増やすことにしました。」

【正答率28.0%】 全国で最も正答率の低い問題

算数

全国の平均正答率と比較して高い結果でした

【平均正答率(%)】

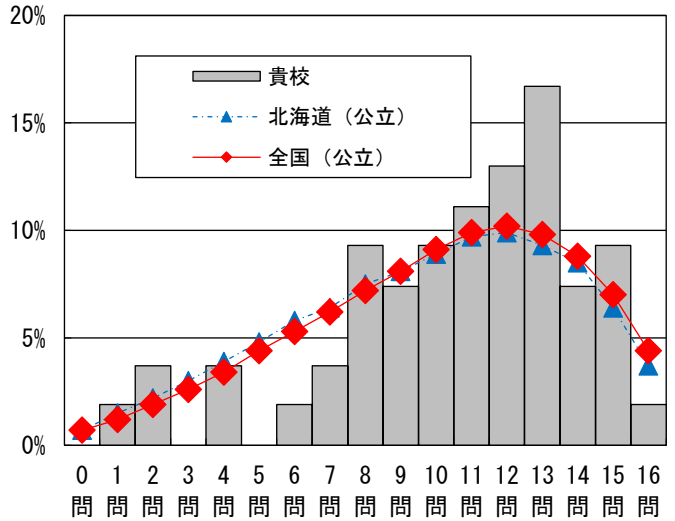
| 本校 | 全国 | 北海道 |
|------|------|------|
| 66.3 | 62.5 | 61.0 |

▶全道、全国平均を上回っている (全国比+3.8%)

【領域別の正答率(%)】

| 区分 | 本校 | 全国 |
|--------|--------------|------|
| 数と計算 | 72.8 全国比+5.5 | 67.3 |
| 図形 | 54.2 全国比+6.0 | 48.2 |
| 変化と関係 | 71.8 全国比+0.9 | 70.9 |
| データの活用 | 68.5 全国比+3.0 | 65.5 |

正答数分布グラフ



○正答率の高い問題

- 伴って変わる二つの数量が、比例の関係にないことを表の中の適切な数を用いて説明する
- 「以上」の意味を理解し、表から必要な数を読み取る
- 加法と乗法の混合計算や分配法則を用いて計算する

●正答率の低い問題

- 正三角形の意味や性質についての理解
- 高さや底辺の関係を基に正三角形の面積の大きさを判断し、その理由を説明する
- 棒グラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する

正答率の高かった問題

3 (3) けんたさんは、下の①と②の計算について考えています。それぞれの計算の答えを書きましょう。

- ① $(151 + 49) \times 3$
- ② $151 \times 3 + 49 \times 3$

3 (3) 正答
① 600
② 600 【正答率 75.9%】

4 (1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

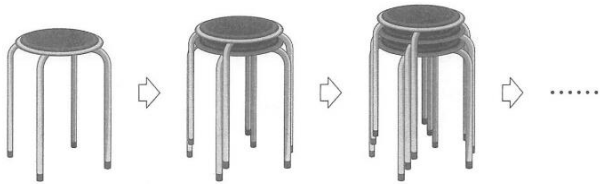
- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合

4 (1) 正答 ウ、エ
【正答率 50.0%】

正答率の低かった問題

正答率の高かった問題

1 はるまさんたちは、いすをかたづけるために、下のように重ねています。



1 しゃくの高さは、45 cm です。

(2) はるまさんたちは、いすの数と高さの関係について考えています。

| | | | | | |
|------------|----|----|----|----|---|
| いすの数 (しゃく) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 高さ (cm) | 45 | 51 | 57 | 63 | A |



高さはいすの数に比例しているのでしょうか。



いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていないので、高さはいすの数に比例していません。

「いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていない」ことを、表の中の数を使うと、次のように説明することができます。

いすの数が ㉗ しゃくから ㉘ しゃくと2倍になっても、高さは ㉙ cm から ㉚ cm で2倍になっていません。

上の ㉗ 、 ㉘ 、 ㉙ 、 ㉚ にはまる数を、表の中の数から1つずつ選んで、書きましょう。

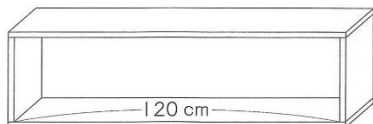
1 (2) 正答例

㉗ 1 ㉘ 2 ㉙ 45 ㉚ 51

【正答率 96.3% 無解答率 0%】

3 (2) けんたさんの学級では、1人が3種類のファイルを1冊ずつ使うことにしました。それぞれのファイルの厚さは、1.4 cm、1.6 cm、2 cm です。けんたさんの学級の人数は23人です。

下のような、はば120 cm のたなに、ファイルを全部並べて入れることができるかどうかを考えています。



3種類のファイル23人分を全部並べた長さは、何 cm ですか。

全部並べた長さの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、たなにファイルを全部並べて入れることができるかどうかを、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

1 入れることができる。

2 入れることができない。

3 (2)

求め方：1人分のファイルの長さを求め、その23人分の長さを求めると、 $(1.4 + 1.6 + 2) \times 23 = 115$ で、115 cm です。

答え：115 cm

番号：1

【正答率 72.2% 全国正答率 56.7%】

4 (3) 正答例

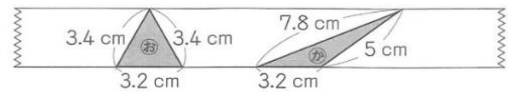
（「1日」に着目すると、次のようなちがいがあります。）

6年生のグラフでは「1日」の人数が2番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「1日」の人数が1番目に多いです。

【正答率 57.4% 無解答率 16.7%】

正答率の低かった問題

2 (4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 ㊸の面積のほうが大きい。

2 ㊹の面積のほうが大きい。

3 ㊸と㊹の面積は等しい。

4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

2 (4) 正答 3

わけ(例)三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求められます。2つの三角形の底辺は、どちらも3.2 cmで等しいです。また、高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊸と㊹の面積は等しいです。

【正答率 31.5% 無解答率 1.9%】

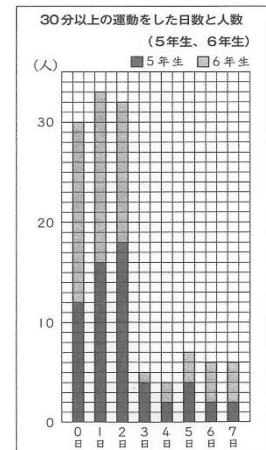
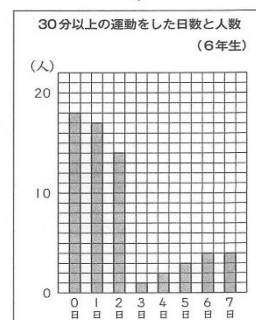
4 (3) あいかさんたちは、5年生と6年生に運動カードを配って調べた結果をポスターにのせるために、30分以上の運動をした日数と人数をグラフに表すことにしました。



自分の学年である6年生の結果を表しました。



5年生と6年生を合わせた結果を表しました。



どちらのグラフも「0日」、「1日」、「2日」の人数が多いということが同じですね。



でも、2つのグラフをくわしく見ると、ちがうところもありますね。

そこで、あいかさんたちは、日数に着目して、2つのグラフのちがうところを、次のようにまとめました。

【「0日」についてまとめたこと】

「0日」に着目すると、次のようなちがいがあります。

6年生のグラフでは「0日」の人数が1番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「0日」の人数が3番目に多いです。

【「0日」についてまとめたこと】と同じように、「1日」に着目してまとめると、どのようになりますか。

下の□の中に、「6年生のグラフ」、「5年生と6年生を合わせたグラフ」、「番目」の3つの言葉と数を使って書きましょう。

児童質問紙から見受けられる傾向

「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合

- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている
全国比 +2.2%
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている
全国比 +2.0%
- ・読書が好き
全国比 +4.5%
- ・算数の授業の内容はよく分かる
全国比 +3.9%



- ・平日の生活の中に家庭学習の時間を組み込み、計画的に取り組める児童が増えている。
- ・朝読書が定着し、好きな本を楽しみながら読んでいる児童が多い。
- ・基礎・基本が定着し、自信をもって学習に臨んでいる。

- ・自分には、よいところがあると思う
全国比 -14.4%
- ・学校に行くのは楽しいと思う
全国比 -16.2%
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい
全国比 -16.5%
- ・学校が休みの日の、1日あたりの勉強時間
(1時間以下または全くしない割合) 全国比 +7.1%
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる
全国比 -11.6%
- ・学習した内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげている
全国比 -21.1%



- ・自己肯定感や意欲面、対人面での課題が見られる。
- ・日々の授業にしっかり取り組む児童は多いが、主体的に学ぶ意欲や他者との対話、協働的な活動が不足している。
- ・目標を持ち、やるべきことを自ら考え実践できるまでに至っていない。

中央小学校の今後の取組

中央小学校では、全国学力・学習状況調査の結果をはじめ、日常の学習や生活から見て取れる課題について全教職員で共有し、改善に向け取組を進めます。また、中央中学校区で目指す子ども像「夢（目標）を持ち、粘り強くたくましく、学びあい高め合う子どもたち」のもと、中学校区で連携した教育を進めます。

◆授業での「対話」を充実させ、学ぶ楽しさと、より深い学びの実現に向けた授業改革に取り組みます

- ①伝え合う力（対話力）の向上と協働的な学びの充実
- ②ICTの有効活用等による、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ③習熟度別・少人数指導による、個に応じたきめ細かな指導の充実
- ④児童の実態に即した指導計画の立案と実施、評価、改善サイクルの確立
- ⑤家庭学習の質と量の充実を図る取組の推進（学習内容の定着と児童同士の高め合い）

◆自己肯定感を高め、楽しい学校の土台となる支持的風土とよりよい人間関係の構築に努めます

- ①対話と協働を基にした、主体的な特別活動への取組（行事、児童委員会、学級諸活動等）
- ②よりよい人間関係を築くための、挨拶・言葉遣い・礼儀の日常化
- ③多様な価値観を育む、考え議論する道德の推進（指導の重点の明確化）

間もなく、前期のあゆみ（通知表）を渡します。ご家庭でも、お子さんの学習状況を把握し、家庭学習等へのご指導をお願いします。